



スタート前の記念写真。これから5時間の小旅行が始まる。

まだ春浅い北アルプスの里。
そこに集まったのは多種多
様な人たち

2014年3月29日(土) 長野県松本市
松本ロゲイニング 2014 Spring Stage

結果

家族

1	じゃんきんじゃんきん	1227 点
2	裏山歩き隊	1043 点
3	ゆうじんファミリー	912 点

混合

1	横浜 OL クラブ B	1235 点
2	Green Triangle	1209 点
3	山で遊び隊	1181 点

女子

1	とれとれバイクオリエン部	1050 点
2	チーム栗	814 点
3	DO NANO★	806 点

男子

1	TEAM 阿闍梨	1904 点
2	お茶たて~の☆	1553 点
3	走れ SMAP	1121 点

女子ソロ

1	町田はるか	1213 点
2	吉田千夏	1169 点
3	植松 彩	1046 点

男子ソロ

1	中村良大	1695 点
2	西川雅浩	1628 点
3	瀧川英雄	1453 点

鉄分交じりのロゲイニング

ロゲイニング愛好家、オリエンテーリング愛好家、トレイルランナー、山岳愛好家、地元ロードランナー、地元家族、行政関係者たち。毎回ながらロゲイニングに集まってくる人の多様さには驚かされる。今回はこれに「鉄道マニア」の成分もちょっとだけ含まれていた。

北アルプスの里とローカル線

今回の松本ロゲイニングのテーマは「北アルプスの里とローカル線」。今回のフィールドは広大な畑が広がる松本市西部。一部に里山も含まれているが、あまりロゲイニング向きとは言えないエリアだ。しかしこれを魅力的なロゲイニングのフィールドにしてくれたのは、早春の北アルプスの雄大な風景と、清流が流れる梓川。これに沿って走るローカル電車の存在だった。渡る場所の少ない梓川は、ルートプランにアクセントを与えてくれる。利用が許された鉄道だが、本数が少ないために戦略的に使うためのプランが必要となった。

ダイナミックな移動

今回のロゲイニングはアルピコ交通「上高地線」の全線が地図に収まる範囲で設計された。もちろんすべてのコ

ントロールを走って巡る選択枝もあるし、一番得点が得られる。だが移動能力が高くないチームにも鉄道を利用すれば、そこそこ面白い箇所が巡れるようにコース設計した。

その結果、参加者は主催者が思った以上に電車を利用し、フィールド内のダイナミックに移動していたようだ。

この傾向は家族チームに多いようで、電車を使ったロゲイニングを大いに楽しんでいただけたようだ。電車を降りてからの移動距離も大きく、小さな子供でも15km 足で移動している。目標があれば子供は歩き続けることができるのだ。

最後の最後に会場に向かう電車に乗り遅れ、制限時刻に遅刻することが確定的になった家族では、子供が泣き崩れたという。この家族にとって今日の日はずっと語り継がれることだろう。

基本は足の移動

5時間の競技時間の末、上位に入ったチームの行動軌跡を見ると、基本は自分の足による移動だ。男子トップの総移動距離は55km。そのうち数kmの移動に電車を利用している。電車は休憩程度にしか使用していない。女子トップも移動距離45kmとなった。

(木村佳司)